

下館ロータリークラブ会報

SHIMODATE ROTARY CLUB WEEKLY REPORT 2023-24

第 02647 号 発行日 令和 5 年 11 月 1 日



世界に希望を生み出そう

本日のプログラム

ロータリー財団出前卓話



次週のプログラム

11月5日(日)
地区大会 水戸市民会館

会長／宮田 憲一 副会長／神山 芳子 幹事／堀江 勤 会長エレクト／宮田 憲一

例会 毎週水曜日 12:30 ダイヤモンドホール(〒308-0847 茨城県筑西市玉戸1053-4 ☎0296-28-8511)

ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp> Eメール shimodate@ri2820.jp



前例会報告 第3034回 2023/10/22日(日)

母子島遊水地クリーン作戦

清々しい秋晴れに恵まれた10月22日 日曜日、午前8時30分より母子島遊水地にて恒例となりましたクリーン作戦例会が、開催されました。



赤い羽根共同募金活動

10月20日 金曜日、TAIRAYA岡芹店頭にて赤い羽根共同募金運動の街頭募金活動を行いました。今年は限られたスペースでしたので各団体の人数を制限しての開催でした。





前々例会報告 第3033回 2023/10/11日(水)

最勝寺見学会

10月11日、最勝寺にて庭園見学、茶事体験例会を開催いたしました。

清瀧山真珠院という美しい山号と院号をもつ当山は、鎌倉時代の正嘉2年(1258年)、都より下向の公卿鴻ノ大納言義廣公が大檀那となり、親鸞聖人の高弟、最勝坊入道実勝公によって開創されました。当時、執権北条長時公の帰依を得て寺門大いに高まりましたが、寛永5年(1628年)、徳川家光公の命を受けた比叡山学僧雄尊法印が天台宗に改め、十万石の格式と百石の御朱印を賜ります。以来、恵心流顕教と三昧流密教が導入され、多くの学僧名僧を輩出し隆盛を極めました。

しかし明治35年9月27日の大暴風雨によって薬師堂を残しすべての堂宇が被災してしまいました。その後、復興に復興を重ね現在に至ります。本堂は以前より縮小しましたが、客殿書院や庫裏の配置は最盛時の形を踏襲し、さらに茶室、客間、厨房などを増設、境内も昔の景観に匹敵するまでになりました。

お寺という場所の役目については、「いやし」と「元気」にもとづいて、三つにまとめられます。

第一は、ヒーリング・スポット(いやしの場)。いやされなければお寺ではない。お寺はいやしの空間です。

第二は、マジカル・スポット(不思議世界)。日頃積み重ねたストレスはこの非日常的な空間で解放されます。ここで活気を取り戻します。

第三は、ミラクル・スポット。ミラクルとは奇蹟のことですが、仏式には「靈驗」と言ってよ





いでしょう。お参りをして元気になって、さらにその上、肌身で感じるなんらかのお示しをいただくことです。これが獲得できれば再び、娑婆(世間)に舞い戻っていっそう活躍できるでしょう。

建物、施設の設営は、「涅槃堂」の完成を待つて完了いたします。作庭はまだ続きます。寺院の庭は仏さまのお身体、お顔だとも言われます。だからただ鑑賞するだけの庭ではなりません。それぞれのエリアに仏さまのお説法が込められていなければならないのです。散策するだけでもご利益はあるはずです。

あらためて幸せってなあに？と問うと、結構、難しいものですし、幸せ感はひとによってずいぶん違いがあり、きめつけることはできません。でも、おおざっぱに分けると次の三つになるでしょう。

第一は「やすらぎ」、つまり安心と安全であること。病気や災難を含めて不安や恐怖がないことです。

第二に、「つながり」。私たちはいつも「何かのため」「誰かのため」に生きています。これが生きがいというものなのです。

第三に「ときめき」。心を揺さぶるような感動、これあって、生きている実感が得られるものです。

やすらぎ、つながり、ときめき。これらの頭文字をとって、「や・つ・と」。この三つがそろって「やっと」しあわせがまっとうします。「願いがなくなる」とは、決して否定的なことではなく、感動のさなかにあることを意味します。

お寺訪問は、心の安らぎを得、諸仏とのつながりを感じ、そしてときめきの感動を体感する、そういう機会になるはずです。当山の宗教施設と庭園はこの役目を果たすことを目指します。ことに「ときめき」にはなかなか出会えません。ぜひ、当山で「ときめき」を感じてください。



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理規準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理想を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。